

夏の川

夏の昼 祖母の家の近くの川で遊んだ

背中に ぎらぎらと

暑い太陽が いたくつき当たる

周りの木では セミがさわぐ

川上からの速い流れの水に

ゆっくりと 足の指先を こわごわ

少しつけた

川の水は 思った以上に冷たく

思わず 足がひっこんだ

もう一度と 気持ちの準備を完了し

今度は 思いっきり ひざ下まで

水に足が入った

ひんやりとした 冷たさの中に

夏の時間が過ぎた